提出順	5	発言順	17	令和 5 年 5 月 29 日 午前・午後 11 時 8 分受領

（ / 枚中No. / ）

令和５年５月２９日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　小林　純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和５年安曇野市議会６月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	２０分
答弁を求める者	□市　長　□副市長　■教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　□政策部　□市民生活部　□福祉部　□保健医療部 □農林部　□商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　■教育部　□他（　　）		
質問事項	現状維持が目的化しているＰＴＡ活動を変えていこう		

質問の要旨（具体的に記載してください）

２０１８年３月定例会での一般質問で、「近年の傾向として、PTA が本当に必要か、あるいはPTA のあり方を整理すべきでは、という議論が起こっている」という当時の状況を考慮して、望ましいＰＴＡ活動について質問したところ、「教育委員会が直接的に任意団体であるＰＴＡについて、こうしなさいというようなことは考えていない。」との答弁で、突き放された感があった。それから５年が経過するなかで、今や、全国のＰＴＡは危機的と言ってもよいほどに課題・問題が山積しており、安曇野市においても例外ではない。

そこで、以下に質問する。

１、ＰＴＡの危機的な状況について、教育委員会はどのように認識しているか。

２、教育委員会は、任意団体であるＰＴＡに直接的に助言や指導をする立場にないのか。

３、任意団体であるＰＴＡは、入退会自由であることを周知しているか。ＰＴＡの会則・規約等に明記し、入退会の手続きを明確にしているか。ＰＴＡの加入率に変化はあるか。

４、教育委員会こそがＰＴＡに対する固定観念を捨てて、従来のＰＴＡを変えていくことに積極的に関わり後押しするべきではないか。